

新野東小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○基礎的基本的な知識や技能を確実に身につけ、自ら考え、判断し、表現することができる子どもを育成するための指導の充実
○学習習慣を身につけさせ、根気強く課題に取り組むことができる子どもを育成するための指導方法の工夫

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員 校長
教頭 研修主任 教務主任

校長

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|--|--|---------|----------|-------------|
| ○前学年で身につけるべき基礎的基本的な知識・技能がほぼ身につけている児童が多い。 ●今の学習に既習の知識を十分に活用できていない児童がいる。 | ・基礎的基本的な知識や技能を確実に身につけることができる。 ・学習の過程を通して習得した知識が、既習の知識と関連付けられ、他の学習の場面で活用することができる。 ・与えられた課題だけでなく、自分で課題を見つけて取り組むことができる。 | ・ミライシード等、タブレットアプリを効果的に活用し、学習内容の習熟を図る。 ・自主的に自分に必要な復習内容を選び、学習する習慣を定着させるために、朝の活動や自主学習でのタブレット活用を増やす。 ・徳島新聞「阿波っ子タイムズ」を活用し、国語の知識・技能を定着させる。 | | | |

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|---|--|---------|----------|-------------|
| ○自分の思いや考えを全体の場で表現できるようになりつつある。 ●自分の考えを順序よくまとめて書く活動には課題がある。 ●初めて読む長文について、読解することが苦手な児童が多い。 | ・自分の思いや考えを、理由や根拠を明確にして表現することができる。 ・目的に応じてタブレットを効果的に使い、自分の考えを文章に書いて表現することができる。 ・最後まで長文を読み、内容を理解することができる。 | ・縦割り班活動や集会活動をさらに工夫し、自分の考えを全体の場で表現する力を育てていく。 ・紙媒体だけでなくタブレットで長文を読む機会を増やす。 ・学力向上に関する資料集を効果的に活用し、学習の定着を図る。 | | | |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|---|---|---------|----------|-------------|
| ○他の学年の自主学習ノートを見ることで、自主的に工夫したり内容をよく考えたりする児童が増えた。 ●関連図書を教師が選んで、読む環境を整えたが、自発的に読むとする児童が少なかった。 ●自分から進んで課題に取り組むことができていない児童がいる。 | ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、学習に取り組むことができる。 ・教科の学習に関する本を読み、学習を深めることができる。 | ・自分の課題(苦手な内容や復習が必要なこと、新しく学習したこと等)に合った自主学習ができるように、自主学習についての指導を継続する。 ・並行読書への意欲や関心を高めるための工夫をする。(家庭学習・朝の読書に取り入れる等) | | | |

令和5年度 学力向上ロードマップ

